

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月28日

上場会社名 日本フェンオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6870 URL <https://www.fenwal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 誉将
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 中島 昭 TEL 03-3237-3561
 四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年12月期第1四半期	4,064	27.7	624	55.1	630	48.8	424	42.6
2022年12月期第1四半期	3,181	△19.9	402	△9.7	424	△5.5	297	9.8

（注）包括利益 2023年12月期第1四半期 508百万円（118.5％） 2022年12月期第1四半期 232百万円（△41.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	75.77	—
2022年12月期第1四半期	53.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2023年12月期第1四半期	19,435	12,425	63.9	2,216.56
2022年12月期	18,813	12,312	65.4	2,196.73

（参考）自己資本 2023年12月期第1四半期 12,425百万円 2022年12月期 12,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	72.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	13,039	5.1	1,255	△4.2	1,310	△11.4	712	△13.8	127.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	5,893,000株	2022年12月期	5,893,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	287,122株	2022年12月期	287,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	5,605,274株	2022年12月期 1 Q	5,596,927株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策のもと、行動制限の緩和や各種政策等により経済活動が正常化に向かうなど、景気は緩やかに持ち直しました。

しかしながら、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れや国際情勢に伴う資源価格の高騰など先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社は引き続き不正問題の解決に向けた対応に注力するとともに、社内風土改革をはじめとした再発防止への取り組みを推進することにより、信頼回復に努めてまいります。また、人材育成や生産設備の増強等、中長期的な成長を見据えた積極的な投資も行っております。

業績につきましては、受注高は半導体装置市場の減速によりサーマル部門を中心に減少したものの、売上高は消防ポンプ部門の回復もあり、前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、受注高は2,649百万円(前年同四半期比12.6%減)、売上高は4,064百万円(前年同四半期比27.7%増)となりました。利益面におきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により営業利益が624百万円(前年同四半期比55.1%増)、経常利益が630百万円(前年同四半期比48.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が424百万円(前年同四半期比42.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

当該部門におきましては、消火設備の改修工事、電力基幹産業向けの警報、消火設備、装置向け防爆製品が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。一方、受注高につきましては、不正問題に伴う営業活動への影響等もあり、減少いたしました。

以上の結果、受注高は1,189百万円(前年同四半期比15.3%減)、売上高は1,489百万円(前年同四半期比27.3%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、不正問題に引き続き真摯に取り組むとともに警報、消火、防爆の各製品を深化し、設備の更新や改修工事の提案等につなげる受注活動及び電力基幹産業、特殊環境施設に向けた営業活動を推進してまいります。また、課題である人材育成につきましても、教育や訓練等の強化により、将来に向け安定かつ成長できる体制の構築を図ってまいります。

開発の状況につきましては、自動火災報知設備にかかる中継器の後継機種開発や感知器のリニューアル等に継続して取り組んでおります。

サーマル部門

当該部門におきましては、半導体装置市場におけるメモリーを中心とする投資に落ち着きが見られ、主力製品である半導体製造装置向け熱板及びセンサーを中心に受注高が減少いたしました。一方、売上高は引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は452百万円(前年同四半期比34.7%減)、売上高は705百万円(前年同四半期比44.2%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、2023年7月に施行予定の輸出規制に伴う投資の調整等もあり、半導体製造装置市場は慎重な動きが見込まれるものの、今後の半導体装置市場の成長を見据え、生産体制を強化してまいります。

開発の状況につきましては、主力製品である熱板の特定顧客及び市場ニーズに合わせた機能、性能の向上を目指した製品開発を継続しており、試作、性能評価を進めております。また、温度センサー及びサーモスイッチにつきましても、特定顧客向けのカスタム製品を中心に開発を進めております。

メディカル部門

当該部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う海外各国での予算減少、需要減に加え、客先における在庫調整等も続いており、主力製品である海外市場向け人工腎臓透析装置及び関連製品の出荷が厳しい状況にあります。また、堅調に推移していた国内市場向け人工腎臓透析装置の関連製品につきましても、部品入手難及び原材料価格の高騰等により供給に一部支障が出るなど厳しい状況が続き、売上高が減少いたしました。受注高は部品調達リードタイムの長期化を見越した先行受注等により増加いたしました。

以上の結果、受注高は340百万円(前年同四半期比40.8%増)、売上高は263百万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、主力製品である海外市場向け人工腎臓透析装置及び関連製品の出荷が徐々に好転し、当初計画した推移に近づくものと見込んでおります。

開発の状況につきましては、新型人工腎臓透析装置の更なる利便性の向上に向けた機能改善及び制御ソフトウェアの開発を継続して進めております。また、その他医療機器の新規開発、従来の要素部品の改良開発も継続して進めております。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

当該部門におきましては、一部の電子部品の入手難における産業機器向け製品の減産、また、事務機器向け製品の在庫調整等の影響により、受注高、売上高ともに減少いたしました。

以上の結果、受注高は221百万円(前年同四半期比35.6%減)、売上高は229百万円(前年同四半期比27.6%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、医療機器、産業機器向けの需要は回復傾向にはあるものの、電子部品の入手難による産業機器、事務機器向け製品の減産、在庫調整等の影響により、厳しい状況が続くものと予想しております。

消防ポンプ部門

当該部門におきましては、地方自治体向け及び総務省向けの消防車・消防ポンプ販売が好調で、国内向け売上高が増加いたしました。

また、海外市場では中国・台湾向け消防ポンプが引き続き堅調に推移しており、特に中国では新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い入札案件が増加傾向にあり、海外向け受注高が増加いたしました。

以上の結果、受注高は446百万円(前年同四半期比27.5%増)、売上高は1,376百万円(前年同四半期比50.4%増)となりました。なお、事業の特性により、前連結会計年度後半に受注した製品の出荷が、第1四半期連結累計期間に集中するため、受注高と売上高が大きく乖離する傾向があります。

今後の見通しにつきましては、官公庁及び地方自治体向け予算は回復傾向にあり、国内受注は消防車を中心に増加しつつあるものの、利益面では原材料等の高騰により、国内外ともに厳しい状況が続くものと予想しております。

開発の状況につきましては、空冷式及び水冷式消防ポンプのモデルチェンジ等に継続して取り組んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、19,435百万円となり、前連結会計年度末18,813百万円に比べ622百万円(3.3%)増加しております。主な増加要因は「受取手形及び売掛金」508百万円(25.0%)、「原材料」191百万円(12.4%)であります。

負債合計は、7,009百万円となり、前連結会計年度末6,500百万円に比べ509百万円(7.8%)増加しております。主な増加要因は「支払手形及び買掛金」596百万円(32.4%)であり、主な減少要因は「長期借入金」73百万円(7.9%)であります。

純資産合計は、12,425百万円となり、前連結会計年度末12,312百万円に比べ112百万円(0.9%)増加しております。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」72百万円(13.6%)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,316,751	6,419,876
受取手形及び売掛金	2,037,864	2,546,631
電子記録債権	1,219,146	1,372,662
完成工事未収入金及び契約資産	1,766,471	1,687,430
製品	527,609	538,020
仕掛品	425,536	397,809
原材料	1,543,158	1,734,455
その他	115,249	111,529
貸倒引当金	△3,899	△3,899
流動資産合計	13,947,889	14,804,515
固定資産		
有形固定資産	1,254,861	1,279,019
無形固定資産		
のれん	926,590	897,634
その他	168,924	172,281
無形固定資産合計	1,095,515	1,069,915
投資その他の資産		
投資有価証券	2,015,209	1,909,511
その他	822,600	393,192
貸倒引当金	△322,747	△20,650
投資その他の資産合計	2,515,062	2,282,054
固定資産合計	4,865,439	4,630,989
資産合計	18,813,328	19,435,505
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841,883	2,438,011
工事未払金	427,671	421,696
短期借入金	550,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	295,920	295,920
未払法人税等	206,922	141,213
賞与引当金	—	95,160
役員賞与引当金	—	4,062
製品保証引当金	119,972	138,906
その他	1,045,206	897,652
流動負債合計	4,487,576	5,132,622
固定負債		
長期借入金	936,220	862,240
役員株式給付引当金	7,124	6,925
退職給付に係る負債	330,053	322,407
資産除去債務	23,852	23,852
製品改修関連損失引当金	696,800	644,271
その他	18,883	17,428
固定負債合計	2,012,935	1,877,125
負債合計	6,500,512	7,009,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	9,340,161	9,368,575
自己株式	△416,416	△415,495
株主資本合計	11,380,862	11,410,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	531,606	603,920
為替換算調整勘定	418,441	426,839
退職給付に係る調整累計額	△18,093	△15,200
その他の包括利益累計額合計	931,954	1,015,559
純資産合計	12,312,816	12,425,757
負債純資産合計	18,813,328	19,435,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,181,575	4,064,240
売上原価	2,162,225	2,785,810
売上総利益	1,019,350	1,278,430
販売費及び一般管理費	616,570	653,528
営業利益	402,779	624,901
営業外収益		
受取利息	1,467	8,232
為替差益	18,951	76
その他	4,409	1,235
営業外収益合計	24,828	9,543
営業外費用		
支払利息	3,489	3,043
その他	25	431
営業外費用合計	3,515	3,475
経常利益	424,093	630,969
特別利益		
投資有価証券売却益	33,670	6,388
特別利益合計	33,670	6,388
税金等調整前四半期純利益	457,763	637,357
法人税、住民税及び事業税	130,516	132,320
法人税等調整額	29,429	80,339
法人税等合計	159,946	212,660
四半期純利益	297,817	424,697
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,817	424,697

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	297,817	424,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152,037	72,314
為替換算調整勘定	87,221	8,398
退職給付に係る調整額	△366	2,892
その他の包括利益合計	△65,182	83,605
四半期包括利益	232,634	508,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,634	508,302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	S S P部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	86,080	489,339	290,931	316,421	915,208	2,097,981	—	2,097,981
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,083,594	—	—	—	—	1,083,594	—	1,083,594
顧客との契約 から生じる収益	1,169,674	489,339	290,931	316,421	915,208	3,181,575	—	3,181,575
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,169,674	489,339	290,931	316,421	915,208	3,181,575	—	3,181,575
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,169,674	489,339	290,931	316,421	915,208	3,181,575	—	3,181,575
セグメント利益	252,914	122,680	18,418	72,934	76,181	543,129	△140,349	402,779

(注) 1 セグメント利益の調整額△140,349千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	213,386	705,717	263,818	229,149	1,376,363	2,788,435	—	2,788,435
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,275,805	—	—	—	—	1,275,805	—	1,275,805
顧客との契約 から生じる収益	1,489,191	705,717	263,818	229,149	1,376,363	4,064,240	—	4,064,240
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,489,191	705,717	263,818	229,149	1,376,363	4,064,240	—	4,064,240
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,489,191	705,717	263,818	229,149	1,376,363	4,064,240	—	4,064,240
セグメント利益	351,072	165,777	24,952	23,363	199,334	764,499	△139,597	624,901

(注) 1 セグメント利益の調整額△139,597千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。